

平成 27 年 5 月 18 日(月)

平成 26 年度 事業活動報告書

【法人活動状況】

理事会

年 3 回開催（平成 26 年 5 月 26 日、10 月 21 日、平成 27 年 3 月 23 日）

監事監査会

年 1 回開催（平成 26 年 5 月 19 日）

【施設利用状況】

平成 26 年度入所率及び平均介護度

入所率	平成 25 年度		平成 26 年度	
	入所	99.44%	入所	99.71%
	短期入所	94.04%	短期入所	90.68%
	合計	99.04%	合計	99.04%
平均要介護度	平成 26 年 3 月末時点		平成 27 年 3 月末時点	
	4.02		4.24	

平成 25 年度空床利用 空床数 312 日：利用数 62 日：利用率 19.87%

平成 26 年度空床利用 空床数 386 日：利用数 66 日：利用率 17.10%

※（年度中退居者 10 名）

平成 26 年度月別稼働率及び平均介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均計
入所	99.33%	97.94%	99.47%	99.10%	98.06%	97.53%	98.65%	98.33%	98.58%	98.65%	98.07%	95.29%	98.25%
短期入所	92.50%	82.26%	94.17%	92.74%	95.97%	96.67%	87.10%	92.50%	84.68%	90.32%	90.18%	89.52%	90.72%
計	98.83%	96.77%	99.07%	98.63%	97.91%	97.47%	97.79%	97.90%	97.55%	98.03%	97.49%	94.86%	97.69%
空床利用	13	0	0	0	0	2	10	1	15	6	9	10	66
平均介護度	4.12	4.18	4.22	4.22	4.22	4.20	4.20	4.22	4.20	4.20	4.22	4.24	4.20

平均介護度内訳

入所（平成 27 年 3 月 31 日現在）

	男性	女性	計
人数	10 名	40 名	50 名
要介護度 1	0	0	0
要介護度 2	0	2	2
要介護度 3	1	7	8
要介護度 4	1	15	16
要介護度 5	8	16	24

短期入所（平成 26 年度利用状況）

短期入所	男性	女性	計
人数	62 名	162 名	224 名
要介護度 1	2	9	11
要介護度 2	3	39	42
要介護度 3	32	36	68
要介護度 4	13	41	54
要介護度 5	12	37	49

【施設活動状況】

行事活動（別紙 1 参照）

総行事回数 79 回、参加人数 543 名（月平均 45 名）

クラブ活動

生花：延 185 人、図書館ツアー：延 24 人、体操：延 153 人、

習字：延 154 人、園芸：44 人 合計 560 人（月平均 46 人）

クラブ活動内容に変更ないが、以前参加出来ていたクラブ活動への参加が難しくなったケースもあり、また、利用者の状態や入れ替わりにより全体的に参加率が低下した。内容の見直しはなし。

ボランティア受入（別紙 2 参照）

ボランティア受入延数 321 人（新規登録者数 31 名、継続登録者数 34 人）

平成 26 年度受入延数は前年より 48 名減少しているが、学生ボランティアコーディネーターの協力の下、新規学生ボランティアの受け入れが良好であった。日常の趣味・生活支援の為のボランティア活動はより達成感を感じられると継続をして頂いている。メイクアップ、眼鏡の調整、オカリナ演奏、園芸、生け花等、地域のボランティアの協力を継続して得ることができている。

職員の体制（平成 27 年 3 月 31 日現在）

施設長	事務員	員 生活 相談	介護職員	看護職員	指導員 機能訓練	栄養士	調理員	専門員 介護支援	医師
1	2	1	31	4	1	1	外部 委託	1	嘱託

※上記兼務を含む

介護福祉士比率 介護職員 18/31 人（パート職員含む）

採用活動

合同就職説明会

社会福祉協議会、岡山県介護事業所運営向上ネットワーク主催で実施の合同説明会に参加。

新卒者 3 名採用。

苦情処理（別紙 3 参照）

平成 26 年度、4 件の苦情があった。今後ご本人・ご家族への適切な情報提供を行い、不安を訴えやすいための関係づくりを構築する。

事故報告（別紙 4 参照）

平成 26 年度中に岡山市への報告事故が 3 件発生した。

入居者様ご家族満足度調査（別紙 5 参照）

上期に意見箱用活用の案内によるご意見の募集を行った。

下期に平成 26 年度中に入居者様のご家族に対する満足度調査（アンケートによる）を 1 回行い、結果と返事を生活向上委員会で検討した。

外部評価の実施

平成 26 年度は外部評価未実施。

研修事業の追加

平成 26 年度中は社会福祉士及び介護福祉士法第 14 条における喀痰吸引等研修事業 2 号研修を 2 期に分けて行った。修了者 32 名。

固定資産等の増減

平成 26 年度は 2 階、3 階の各階の入浴脱衣所用として介護ベッドを計 2 台購入した。

研修事業の開始に伴い、社会福祉事業が所有としていたシュミレーター 3 台を研修事業へ移管した。

施設整備、大規模修繕等

平成 26 年度中に電灯設備のうち 1 日 8 時間以上点灯箇所を LED 電球に交換。

空調設備室外機の入替えは前年度より保留とし年度内 8 カ所修繕対応。

処遇・委員会活動

① 個別ニーズに対応した暮らしの実現の為の取り組みとして、ユニット職員と多職種参加のユニット会議を定例化し、入所様の個性を尊重した、それぞれの行事の在り方を考える機会とした。誕生日会は、望まれる形での個別対応とし、勤務体制を見直し担当職員と利用者のコミュニケーションの機会、時間を調整し、企画や外出の機会の増加に努めた。ユニット費の使用枠を見直し、ユニット単位での行事に活性化に努めた。

② 勉強会の実施

各ユニットリーダーが講師となり、ユニットケア勉強会を行い意義目的の浸透に努めた。施設内研修の充実を図り、各委員会での取り組みと課題についての研修を行い施設全体としての意識付けを高めるよう努めた。

③ 給食委員会

月に1回の季節物おやつ提供、バイキング形式での食事を年に3回（5月、10月、1月）実施。反省内容としてバイキング前日までの段取り不足があるなど当日までの準備体制に問題があった。各階フロア全体でのバイキング形式も利用者よりご好評であった。食事形態の見直し、変更など多職種と連携し早期対応することができた。メニュー案が多数検討することができたが、決定までに時間がかかり過ぎてしまった。おやつ作りの実施回数が例年より不足した。

施設内研修では療養食についての勉強会を実施し、改めて提供する際の注意点等を学んだ。平成27年度は「おいしく・たのしく・安全に」食べることができるよう利用者の状態に合わせた食事形態が提供できること、一方的な提供にならない見直しの機会を持つこととする。また、バランス良く食事ができるようにメニューの説明や声かけ、コミュニケーションによる摂取量の維持・向上を図る。

利用者の食べたいものや好きな物を把握し、普段の食事以外にもバイキング、おやつ作りや食事作り、外食等の企画を計画し、楽しい食事時間を過ごせるようにする。

④ 感染症委員会

平成26年度は感染症対策として手洗いと吐物の処理の実践を主として取り組みを行った。実際に行うことで再確認を図った各ユニットに、各ユニットに設置した吐物処理グッズは感染症の発生に係らず、普段から使用することで万一の場合にスムーズに使用できる体制安定化を図った。的確な処理が身につくよう、勉強会を継続して行い、感染症発生時、誰もが的確な対応ができるようにする。マニュアルは内容の見直しを継続している。

⑤ 褥創予防・改善委員会

平成26年度は、前年同様早期発見早期対応を目標としたが、早期発見できた部分と対応が遅れた部分があった。遅れた理由は前年同様に情報共有不足、連携不足が挙げられるため看護と介護との連携強化も継続課題とする。また、前年は物品管理の徹底が出来ていなかったが、今年度はマニュアルの見直しにより物品管理の課題はクリアしトラブルはなかった。褥創経過表の見直しは継続している。

院内研修は施設物品を使用してのポジショニングの勉強会を行い、褥創の基礎、初期段階から形成に至るまでの経過と予防、対策について学んだ。

⑥ 事故対策委員会

平成 26 年度は、2 階、3 階とも内出血、特に職員のミスによる内出血を減らすという目標、また内出血をテーマに勉強会をおこなったにもかかわらず、平成 25 年度（内出血 23 件）より、9 件増えている。歳を重ねるごとに利用者の状態は低下していくことも要因の一つではあるが、来年度はさらに意識して行っていく。

また平成 26 年度は転倒・転落の事故も平成 25 年度（転倒 21 件・転落 21 件）に比べ大幅に増加している。平成 27 年度は事故委員を中心に、施設全体としての状況分析、短期的解決案、長期的解決案をまとめ、順次取り組み、事故を減らしていく。

⑦ 身体拘束廃止・虐待防止委員会

平成 26 年度は身体拘束を一時的であるが 1 件行っている。身体拘束を検討しなければいけない時には①切迫性②非代替性③一時性の 3 点において、本当に必要なかをきちんと精査した上で行っていた。『身体拘束は行わない』という施設としての基本姿勢を大事にし、平成 27 年度も行っていく。また、身体拘束について、勉強会を通して理解を深めていく。

平成 26 年度は全職員を対象に虐待について勉強会を行い、虐待についての基本知識を学ぶことができた。平成 27 年度は虐待というのが身近な問題であることを全職員が共有認識し、お互いがフォローしあえる職場づくりを目指す。

⑧ 研修・教育委員会

平成 26 年度は内部研修の体制についての見直しを行い勤務時間外の実施を全て勤務時間内での実施とした。外部研修で学んだ内容を都度職員総会で発表しているが周知に留まり、施設に還元されているには至らず、学んだことの還元を検討する機会を設けるためのシステム作りを検討した。平成 27 年度より実施。

外部研修は中堅職員の資質向上に重点を置いた。施設内研修は各委員会よりテーマを設定し実施。
平成 26 年度 施設内研修：30 件（243 名） 施設外研修：27 件（33 名）

⑨ 防災・災害対策委員会

平成 26 年度は災害用備蓄の整備を重点的に行い、3 日分の災害備蓄を整備した。平成 27 年度は消防訓練マニュアルと災害時事業継続計画（BCP）の整備を行う予定。

平成 26 年度消防訓練実施状況

年度内 2 回実施

平成 26 年 5 月 26 日

総合訓練（日中想定）

3 F さくらの丘の台所より出火

参加利用者 27 名 参加職員 12 名

平成 26 年 10 月 27 日

総合訓練（夜間想定）

3 F ひまわりの丘の台所より出火

参加利用者 27 名 参加職員 4 名

平成26年度 行事活動報告書

別紙1

施設行事、その他の行事

1	6月16日	オカリナ演奏	20
2	7月2日	ソーメン流し	9
3	7月12日	〃	10
4	7月16日	〃	9
5	7月21日	〃	9
6	7月24日	〃	8
7	7月28日	〃	8
8	9月7日	けしご祭り 長寿を祝う会	54
9	9月30日	オカリナ演奏	18
10	10月9日	可知幼稚園交流会	27

11	11月21日	芥子山小学校交流	18
12	12月3日	可知小学校交流会	13
13	12月9日	可知小学校交流会	15
14	12月10日	可知小学校交流会	15
15	12月15日	オカリナ演奏	21
16	12月22日	餅つき	29
16	1月17日	新年会	27
16	1月24日	新年会	27
17	3月3日	オカリナ演奏	20
18	3月21日	ボランティア音楽会	25
合計			382

2階 ユニット行事

19	4月1日	誕生日会	1
20	4月2日	誕生日会	1
21	4月10日	花見	5
22	4月14日	誕生日会	3
23	4月29日	誕生日会	1
24	5月25日	誕生日会	1
25	6月6日	外出企画	1
26	6月24日	誕生日会	8
27	7月3日	誕生日会	1
28	8月28日	誕生日会	4
29	9月19日	誕生日会	1
30	10月3日	誕生日会	1
31	10月19日	外出企画	3
32	10月20日	誕生日会	2
33	10月25日	誕生日会	4
34	10月31日	誕生日会	2
35	11月2日	誕生日会	5
36	11月7日	誕生日会	1
37	11月11日	外出企画	3
38	12月9日	外出企画	3
39	1月3日	誕生日会	1
40	1月18日	誕生日会	9
41	1月27日	誕生日会	1
42	2月8日	誕生日会	1
43	2月10日	外出企画	1
44	2月13日	外出企画	1
45	2月15日	誕生日会	1
46	2月22日	誕生日会	1
47	2月22日	外出企画	3
48	3月12日	食事会	7
49	3月20日	誕生日会	1
50	3月26日	誕生日会	1
合計			79

3階 ユニット行事

51	4月7日	花見	5
52	4月9日	花見	15
53	4月17日	誕生日会	1
54	4月23日	誕生日会	1
55	4月24日	誕生日会	6
56	4月27日	誕生日会	1
57	5月7日	外出企画	1
58	5月21日	誕生日会	1
59	6月14日	誕生日会	1
60	6月24日	誕生日会	2
61	6月25日	誕生日会	1
62	8月3日	誕生日会	1
63	9月19日	誕生日会	1
64	9月22日	誕生日会	1
65	10月8日	外出企画	3
66	10月21日	外出企画	1
67	10月28日	バルーンアート	15
68	11月18日	誕生日会	5
69	12月3日	外出企画	1
70	12月14日	外出企画	1
71	12月26日	誕生日会	1
72	1月11日	誕生日会	1
73	2月9日	外出企画	1
74	2月13日	外出企画	1
75	2月23日	外出企画	1
76	3月17日	食事会	6
77	3月26日	誕生日会	2
78	3月29日	花見	4
79	3月31日	誕生日会	1
合計			82

参加者合計	543
-------	-----

平成26年度 ボランティア受け入れ状況

別紙2

ボランティア参加総数(H26.4~H27.3)

月	参加人数	一日平均	新規登録者数	継続登録者数	延べ登録者数	備考
4	27	0.9	4	23	27	
5	27	1.1	4	18	22	
6	32	1	2	29	31	
7	23	0.7	2	27	29	
8	23	0.5	1	34	35	
9	58	1.9	8	35	43	
10	16	0.5	0	18	22	
11	16	1.8	0	34	34	
12	24	0.8	4	40	44	
1	24	0.64	1	49	49	
2	21	0.3	5	18	23	
3	30	1.8	0	34	34	
合計人数	321		31			
平均	3.075	1.004	2.66			

行事延べ参加人数(H26.4~H27.4)														
行事	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
園芸クラブ		6	9	11	4	2		5	4	7	6	6	4	64
生け花クラブ		7	6	6	7	7	8	6	5	6	6	6	7	77
カレンダー作り		9	11	10	7	10	6	5	6	6	6	9	5	90
メイクボランティア			1		1				1					3
オカリナ風車				5			5			5			5	20
夏のボランティア体験					4	4								8
ユニット企画		5											1	6
けしご祭り							39							39
新年会											6			6
音楽会													8	8
合計		27	27	32	23	23	58	16	16	24	24	21	30	321

苦情報告内訳

別紙3

利用者サービス種類	苦情申立日時	申立方法	苦情の種類
入所	平成26年4月24日	電話	利用者処遇
入所	平成26年5月13日	口頭	利用者処遇
短期入所	平成26年12月12日	口頭	利用者処遇
入所	平成27年2月26日	口頭	利用者処遇

平成26年度 事故報告集計

別紙4

項目	2階	3階	ショートステイ	合計
転倒	56	13	6	75
転落	16	16	3	35
誤嚥	0	0	0	0
窒息	0	0	0	0
表皮剥離	14	15	0	29
暴言・暴力	1	2	0	3
内出血	20	12	0	32
異食	1	0	3	4
その他	4	9	1	14
ひやりはっと	9	8	4	21
計	121	75	17	213

市への報告事例 (4件)

日時・内容 事故 概要		
平成26年	8/14(木) 転倒 骨折	<p>18:45他利用者の介助後、ユニットリビングへ戻ると、本人が自室前にて仰臥位の状態でいる所を発見する。そばに、杖代わりに引きずったと見られる椅子があり、いつも使用している杖は持っていなかった。トイレに向かおうと思ったと思われる。「頭は打っていない。」と本人話す。右腰部、右大腿部外側の痛み、膝を曲げる際にも痛みがある。右腰部、右大腿部に出血、腫脹等は見られない。血圧114/58mm Hg、脈76拍/分、体温36.4度。</p> <p>翌日10:00発で済生会病院受診。恥骨骨折疑いの診断あり。入院は不要、痛い時には痛み止めを服用し、必要であれば、かかりつけ医に相談するよう医師より説明あり。</p> <p>(分析) 元々歩行不安定なうえ、重度認知症により、危険認知ができない状態である。椅子を杖代わりに移動したことにより、さらに歩行不安定につながったのではないか。</p> <p>(対策) 出来る限りの見守り、声かけを行い、転落・転倒事故の防止</p>
平成27年	2/9(木) 転倒 骨折	<p>2/9 6:30「誰か来て」と聞こえるため、訪室するとベッドの方向を向いて床に長座位で座っている所を発見する。ズボン、ズボン下、布パンツを膝の辺りまで下げられている。痛みの有無を尋ねると右腰部～右大腿部にかけての痛みの訴えあり。「頭は打っていない」と話す。右足は「痛くて動かん」と話す。状況を尋ねると、「トイレに行こうとして立ったんじゃ。ズボンを下ろしようて、ズテーンって左の方に転んだんよ」と話す。ベッドにはL字柵使用(端座位時右側)。ベッドサイドにポータブルトイレ(端座位時左側)を置いている。</p> <p>岡山西大寺病院に受診。診断の結果、右大腿骨骨折と診断され、4週間の予定で入院治療となる(2月13日手術予定)。</p> <p>(分析) ポータブルトイレに行こうとされ、L字柵を持ってズボン、ズボン下、パンツをおろす際、バランスを崩し、転倒されたのではないか。</p> <p>(対策) 転倒される可能性があることを全職員意識する。 夜間1時間ごとに巡視を行う。</p>

平成27年	2/26(木) 転倒 急性硬膜 下血腫	<p>13:50汚物処理室で他者の嘔吐物処理をしていた職員が「ゴン」という大きな音を聞く。出てみると汚物処理室前の廊下にて、右足の靴が脱げ、仰臥位の状態で倒れているご本人を発見する。後頭部、背中～腰にかけての痛みの訴えあり。声かけにはしっかりと反応あり。リクライニング車いすにて居室のベッドまで移動し、横になっていただく。吐き気あり「体のあちこちが痛い」と話す。</p> <p>西大寺病院受診。検査の結果、外傷性硬膜下血腫と診断され、入院となる。</p> <p>(分析) 発見時、右足の靴が脱げていたことから、足を滑らせて後ろに倒れたのではないか。</p> <p>トイレに急いで行こうとして靴が脱げ、足を滑らせて後ろに倒れたのではないか。</p> <p>(対策) 出来る限りの見守り 排尿の間隔が空いている時は声かけトイレ誘導を行う。</p>
	4/9(木) 転倒 骨 折	<p>4/9 7:05にみかん村11号室前の廊下にて右側臥位で横になっている所を発見。声かけに反応はあるが終始閉眼しておられる。状況を確認するとズボンの片方に両足を入れた状態である。頭部外傷や腫脹は見られないが痛みをきくと顔、首、左大腿部に痛みの訴えあり。左大腿部の痛みは特に強く、やや発赤が見られる。嘔気なし。立ち上がり、歩行は困難である。</p> <p>西大寺病院に受診。左大腿骨転子部骨折との診断にて入院指示あり。</p> <p>17:50次男より明日手術予定。3,4週間の入院の旨、話あり。</p> <p>(分析) 両下肢をズボンの片方に入れていたため、思うように歩行できず転倒したのではないか。発見時右側臥位であったが、左足を床に打ちつけ、痛みなどから寝返りを打ったのではないか。</p> <p>(対策) 現在入院中につき、対策検討中</p>

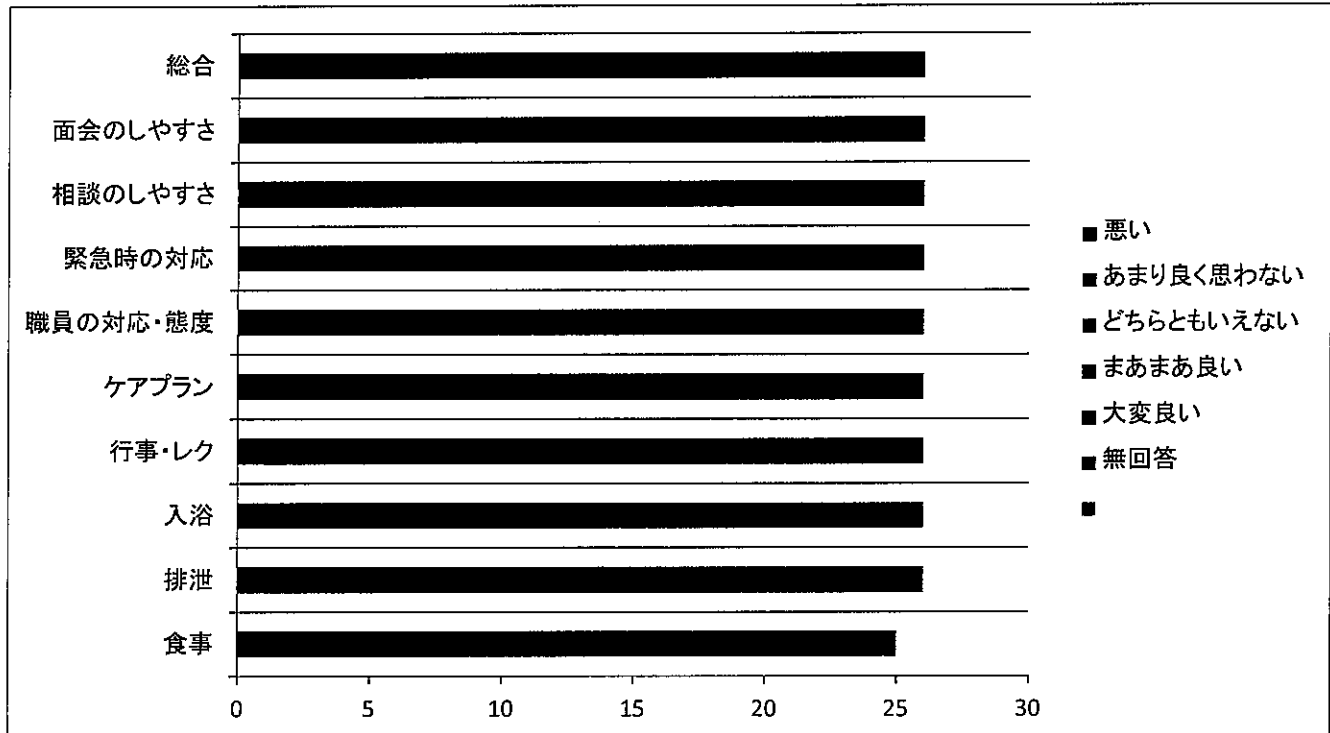
平成26年度 けしごの里施設改善アンケート 回答結果

別紙5

※26通のご回答をいただきました。ご協力大変ありがとうございました。

○項目別評価

	悪い	あまり良く思わない	どちらともいえない	まあまあ良い	大変良い	無回答
食事	0	0	0	5	19	1
排泄	0	0	1	6	16	3
入浴	0	0	2	7	15	2
行事・レク	0	0	1	4	20	1
ケアプラン	0	0	0	5	20	1
職員の対応・態度	0	0	0	3	22	1
緊急時の対応	0	0	4	4	16	2
相談のしやすさ	0	0	0	4	22	0
面会のしやすさ	0	0	0	1	25	0
総合	0	0	0	4	20	2



○当施設の好きなおところ

- ・静かな雰囲気にもまれてきれいな所。職員様が皆、親切で優しいところ。本当に有難く感謝しています。これからも宜しくお願い致します。
- ・広々としていつもきれいに掃除ができています。それぞれに応じた食事を出してもらえているところ。
- ・明るくてキレイ。
- ・職員が親切。
- ・行事やレクリエーション。
- ・行事がたくさんあり楽しみです。
- ・毎年1～12月迄、各月ごとに季節ごとに色々と工夫がなされて父も喜んでいることと思います。1月のカラオケ大会ではきっと色んな事を思い出したのでしょうか!?涙にくれてましたが有難うございました。大好きな饅頭を3個も頂き、大丈夫かと心配もしましたが嬉しそうで何よりでした。色々と有難うございました。感謝です。
- ・設備が充実している。
- ・いつも色々と入居者を気遣って頂き大変ありがたく思っています。行事も多々あり、楽しく過ごしていると感じています。
- ・自宅から近いので面会に来やすい。
- ・本人やみなさんと持ち込んだおやつを利用してもらえる。
- ・お忙しいのにお茶が出て本人と飲める。
- ・清潔なおところ。いつもきれいにしているため、面会に行った時、とても気持ちが良いです。
- ・職員さんが皆さん優しいです。
- ・出来ることならフロア担当の方はもう少し多い方が良いと思うけど、無理なことでしょうか。いつも頭が下がる思いです。大変な仕事だと思います。
- ・清潔感があり、いつも伺っても気持ちが良いです。
 - ・貴施設の好きなおところは面会者用の履物入れで、上履き用と下履き用と履物の置き場を区別しているところ。このことで入居を強く希望しました。望みが叶いありがたいと思っています。願わくば、面会者の多くの方々がそのことに気づき、区別した置き方がなされることを望むものです。
- ・いつもありがとうございます。心まで温かくしてもらっています。
- ・いつも清潔で季節の花、木が内外に植えてあり、大変心が和みます。ローカにはソファもあり座ることができて大変良いと思います。又、その日の献立も掲示板になっており、当日のメニューが分かるので良いと思います。
- ・スタッフの方々の対応がとても良く感謝でいっぱいです。家族でも十分なことができないのに頭が下がります。人出不足の中、本当に頑張って下さるのが良く分かってますので十分です。

○当施設の改善してほしいところ

・最近2階でエレベーターを降りた時にちょっと嫌な臭いを感じることがあります。皆さんが集まる場所ではさらに強い臭いを感じるものが少なくありません。臭いの元になっていることを改善していただけたらと思います。

・できるだけホールに利用者だけでいいようにしてほしい。

・せっかくの美味しい料理ですが、利用者は現在やっとお箸が使えて物を口へ運んでいる状態ですが、お箸で捕えられずに苦労している食べ物がある。小さいトーフの切れ、ドロリとしたトロミ料理など。そうかと言ってスプーンでという考えはもう出てこない。玉子などで固めてあれば食べやすいと思う。大きな魚の切身は今度は大き過ぎてなかなか。

・ホールにどなたも(職員さん)いない時に淋しくなります。職員さんがもう少し多いと変わるんではないかと思えます。

・衣類等、ストックが少なくなったり(ほつれ、破れ等により)した際は新しく補充したいので、遠慮なく言ってくださると喜びます。こちらが来訪時に気をつけてはいますが、忙しく行けない場合がありますので...希望としてです。

○その他ご意見

・いつも大変お世話になりありがとうございます。特養の介護報酬が減る中、介護士さん達の待遇はもっと良くなって欲しいと願っています。

・いつも優しく介護していただいてありがとうございます。

・今年は満90才を迎えますが、元気にのんびりと暮してもらえることが私にとって何よりの財産だと思っています。出来るだけ父の最期は、けしごの里で看とって頂けたらと切に願ってやみません。宜しくお願い致します。

・たまに...ですが、連絡が内部で伝わらない事があります。(大した内容ではないのですが)

・私は昼食前の11:30に面会に行っているが、その頃は介護者はとても忙しい。食事をする人を部屋からテーブルに連れてくるのに、あるいは部屋へ世話をしに行った時に、他利用者がトイレや自分の部屋へ歩き出す。見ていた私はハラハラしていると偶然、誰かが通りかかり、ホッとす。あの時間帯は自由に動いて絶えず見る人がいて、無人にならないようにすることができれば安心だが、やはり人手不足ですかね。

・もう一度口から何か食べさせてあげたいです。退院して痩せていた顔にふっくら肉がついて安心してます。有難うございます。

・職員の皆様に良くしてもらって本当に有難く思っています。感謝いたしております。